

目標達成計画

作成日: 平成 26年 12月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所自体が地域の一員として日常的に交流しているとは言い難い面があり、取り組みの必要を感じる。	地域との交流が日常的に見られ、地域から花心家があって良かったと言われるようになる。	集会や清掃などの地域の行事に参加する。 花心家便りを、地域向けに発行し広報活動を行う。 地域向けの認知症等の学習会を開催する。	12ヶ月
2	19	配置転換等により、新たな家族との関係作りを行う必要がある。	家族から、花心家に委ねて良かったと感じていただけるようになる。	面会時等に、入居者本人の状況報告と合わせ、家族からのケア等に対する意向を積極的に伺うようにする。 花心家便りの充実を通じ、当事業所の取り組みを分かりやすく伝える。 入居者本人に対する家族の想いを積極的に伺うようにする。	12ヶ月
3	13	職員一人ひとりのケアの実践と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めてはいるが、まだ、不十分である。	入居者一人ひとりにあった、介護技術を習得し、入居者はもとより職員にも負担のない介護技術を実践できる。	介護技術の自主研修会の開催や、外部の研修に参加し、スキルアップに努める。	12ヶ月
4	3				
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。